

- (1) 西日本石炭じん肺
交渉難航
- (2) またしてもブラック
の猛威
- (折) 建交労学校 i n 北海道
体験記
- (3) 熊本復興応援ソング
文化活動
- (4) 夾竹桃
組合行事

SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信

(No. 17)

西日本石炭じん肺 和解交渉難航

6月30日(金) 西日
本石炭じん肺訴訟。

し・命を軽んじる態度で
ある。

(津波古)

熊本県本部それぞれバスをチャーターして法廷を埋め尽くし、「数は力」を見せつけなければならぬ。各労組にも参集を願います。

じかたび
62年5月、モスクワでひらかれた「世界平和と軍縮のための平和大会」にうたごえのグレートマザー(関鑑子)が招かれ全国に呼掛けられた創作曲の一つ。
「平和と軍縮を」

西日本石炭じん肺は、元々和解を前提としていたが、国は、原告の坑内従事期間が短い事から裁判による決着を求めてきた。しかし、ここに来て、裁判所は、和解案を出してきた。和解金は90万円。あまりにも低い金額。長崎の佐世保にあったニツチツ江迎炭鉱坑内で働いていた原告は、既に高齢化している。原告弁護士は、当初から就労期間の短さも考慮し、管理3口続発性気管支炎の合併症の基準額から就労期間を考慮した額を要求していた。裁判所からの和解の提案金額は、何の根拠もない、原告の健康・暮ら

この法廷の直後に、弁護団、裁判所、被告らと和解協議に入ったが、またしても交渉難航。こうなれば、次回法廷8月10日(木)の法廷に、溢れんばかりの傍聴を大がかりで組織しなければならぬ。大牟田支部・長崎県本部・



1. 一人だけのねがいではなくみんなの心をひらこう花を育てるその心で平和と軍縮を
 2. あしたからの歴史に戦争をなくそう
 3. 一人だけのねがいではなくみんなの心をひらこう幸せを作り出すその腕で平和と軍縮を
- あしたからの地球に戦争をなくすのだ

新たな労働問題発生!

至る所にブラックブラック

またしてもブラック企業が猛威を振るう!
 今度は百万都市福岡。
 またしても、美容系の企業。そのオーナーは不動産業である。今回、せっかく県労連の労働相談員にご拝命を受けましたので、先ずは本人に聞き取り。

①経営層の人間とみられる男女2人は現場の作業実態を全く把握していない。②美容スタッフが慢性的に不足状態で、客からの料金領収もままならない。③入社して社会保険料が公的機

関に支払われていなかった事が判明。

相談者本人は、過去の企業とは違い、百万都市でのこの手の企業に、一定の安心感を持っていた結果がこのありさまである。又、相談者本人より早く、やむなく退社していた元職員らは、労働基準監督署に駆け込んでいる。

労働基準監督署は、調査開始しているらしい。

労働局の認識に新たな風穴を!

3月30日のじん肺・アスベスト検診で、再検査となった方々を独自に調査。その中で初めて聞く企業にかつて働いてい

駆け込み寺は、労基だけでは無い事を相談者は知っていた。我らが建交労大牟田支部を頼つてきた。

雇用契約もしくは労働条件通知書の存在を確認するが、あるにはある。しかし、労働条件通知書に記されているのは、契約元の会社名は記していない。ただ就業場所の店舗名が記してあるだけ。いったい誰と書面で約束を交わしているのか?

この企業、「弁護士」だの「社労士」だの豪語しているようだが、どう

た方がいた。「アスベスト」の事です。ご本人に話を伺い、職歴とその業務内容を一つひとつ聞き出して行く。

同じ建設建屋内で同時作業していたのが、あのニチアス。これだけでは、周辺業務として扱われるが、ご本人の業務は、配管の溶断・溶接工。溶接時には、火の

もハツタリ。

ここは、相手の出方を見たいので、給与振り込み日を狙い目にして、郵便局を介した「内容証明」を事前に準備しようと相談者の了解をとった。

さて、請求額と名目はどうするか? 相談者と話し合い、満勤にならない7月度の給与については、基本給と通勤手当は日割り、社会保険料や資格手当、職能給は会社に在籍しているだけで当たり前に発生するので満額請求することとする。

7月末日の給料支給日

粉が周囲に飛散しないよう、アスベストクロスで自身と溶接箇所をアスベストクロスで包囲。これに加え、ニチアスが配管に取付していたアスベストに加え、定期修理時に、自身の業務として剥がす作業を実施していたのである。ここまで来れば周辺業務とは言わない。「直接作業」である。この

次第で、「内容証明」が発動する事になる。決戦は7月31日!

(津波古)

ブラック企業大賞 2017?

企業自体アスベストの事には白を切る。

はたまた 一度は、熊本労働局に跳ね返されたが、今度は改めて福岡労働局に問うてみると、具体的言及は出来ないでいる。

逃げ口上はもう効かないであろう。

(津波古)

しあわせをはこべるように

地元の小学校が合唱して
います。心打たれるこの
歌の歌詞を熊本の地震を
忘れないよう、ここに紹
介させていただきます。
『地震にも負けない 強
い心をもって
亡くなった方々の分も
毎日大切に 生きていこ
う 傷ついた「熊本」を
もとの姿に戻そう 支え

熊本地震か
ら1年半が過
ぎ、当時の被
災状況が薄れ
る中、「TK
Uみんなのニュー
ス」の中で阪
神淡路大震災
から歌い継が
れて21年、
今熊本バージ
ョンに作り上
げて響け故郷の
歌と題して

「しあわせ
をはこべる
ように」が
毎回熊本の
あう心と 明日への 希望
を胸に 響きわたれ 僕た
ちの歌 生まれ変わる「熊
本」の町に 届けたい 私
たちのうた「しあわせ運べ
るように」』

この歌を作った臼井真先
生も阪神淡路大震災の被災
者で、当時は自分の生まれ
育った町があまりにも変り
果て、生きていく望みを失っ
たそうです。しかし亡くなっ
た方の分まで、元の町に僕
たちが歌で応援しようと作っ



たそうです。
今では、淡路
東北、遠くは
中国の地震の
時も子供たち
に歌い継がれ
ていったそう
です。歌を聞
かれた時はきつ
と心に響くも
のを感じると
思います
(猿渡)

自主上映 100人の会 宋家の三姉妹

20世紀初頭の中国。アメリカ留学から
帰国した宋家の三姉妹は、新しい時代を夢
見ながらも、それぞれ全く異なる結婚相手
を選ぶ。長女の靄齡(M・ヨー)は財閥の御曹
司と結婚し、中国経済を左右する大財閥を
築く。次女の慶齡(M・チャン)は革命家・孫
文と共に情熱を燃やす。そして、三女の
美齡(V・ウー)は野心溢れる軍人・蔣介石
に嫁いで行く。だが孫文の死後、革命の遺志を継いだ慶齡は、美齡と対立
するようになり、その後、その後に続く激動の時代の中で、三姉妹の絆は次第に綻
びてゆく。



連絡先：橋本さん 0944(58)7663

配役

宋慶齡…マギー・チャン (日野由利加)
宋靄齡…ミシエール・ヨー (小野洋子)
宋美齡…ヴィヴィアン・ウー (落合るみ)

8月6日(日) だいく5階
①10時②14時 参加費500円

①8月12日(土) 14時 だいく5階 53-3333
②8月24日(水) 14時 くれんが亭 58-3300
①②共に参加費500円(ドリンク込み)

うたごえ喫茶

あの忌々しいピカド
ン・・・その犠牲は帰
る事はない。だからこ





40年ほ
ど前に、
幼い息子
を連れて
長崎の平
和公園へ。
原爆反対
の世界大
会に参加
しました。
会場の丘
には夾竹
桃の花が
血に染ま
ったかの
ように
咲き乱れ
ていまし

夾竹桃

た。世界
から参
加され
ていた
代表の
みなさ
んと一
つにな
つて原
爆反対
と世界
平和を
う約束
をしま



原水禁長崎大会で歌声を披露する大城さんたち

した。
今年、核兵器「違
法化」、初めての国
際法が成立しました。
世界中の人たちと連
帯して勝ち取った世
界の法律です。他方、
核の傘に隠れている
いる日本政府の不甲
斐なき、弱さが目立っ
てしまいました。核
兵器廃絶の闘いはこ
こから、闘いは今か
ら：(津波古八重子)

< 8月の予定 >

- 8月 2日 (火) 13:30～西日本石炭じん肺弁護団会議 (平川・津波古)
- 4日 (金) 13:00～労職分会定例会
- 6日 (日) 10:00～県労連定期大会 (濱田)
- 7日 (月) 13:00～公共一般分会定例会
- 9日 (水) 10:00～アスベストふくおかの会 (平川・津波古)
- 10日 (木) 13:30～西日本石炭じん肺最終弁論 (大牟田支部・関係団体) 10:30出発
- 11日 (金) 盆休み
- 15日 (火) //
- 16日 (水) 支部執行委員会 (予定)
- 18日 (金) 10:00～県本部執行委員会 (平川・オブザーバー津波古)
- 20日 (日) 10:00～民間分会総会

< 9月の予定 >

- 9月 1日 (金) 10:00～労職分会定例会
- 2日 (土) 建交労中央本部定期大会
- 4日 (月) //
- 4日 (月) 15:00 九州建設アスベスト訴訟・福岡地裁
- 5日 (火) 10:00～築炉じん肺訴訟
- 6日 (水) 10:00～県本部執行委員会
- 17日 (日) 10:00～県本部大会

新たな仲間たちと

建交労学校in北海道

6月16～18日

の三日間の、建交労学校開催の連絡があり、私自身、組合加盟2年になるのでどんなものか興味本位で参加の旨を平川執行委員長に伝えた。九州地域枠で二人、又、40歳代までの枠と聞いていたので、私にとって「狭き門？」と勝手に想像していた、申込だけはしていた。

前泊の出発で北広島駅に夕方過ぎに到着した。ホテルの無料シャトルバスまで時間があつたので、駅近辺の居酒屋で腹ごしらえ。

北海道と言えば「海鮮丼でしょ！」と思ひ込み注文した。

海の幸は本当に美味しかったのですが、問題はホタテです。ホタテのふにやふにやした食感に違和感を感じた。九州っ子の私にはやはり貝柱は宝の海の「たいらぎ」である。

ホテルに到着して、持参したモバイルを眺め、今のうちにできる仕事…無い。

やはり、じん肺検診の再検査者と顔を合わせてないと仕事にならない…

ここはあきらめて、24年ぶり？発行とされる「青春の門（風雲編）」に目をやったら、いつの間にか眠りについた。

【建交労学校1日目】

講義1

「労働条件通知書のチェック



とあな たの職 場の働 き方改 革」 講師… 佐藤 陵



一元中央執行委員長

労働契約の悪意味での多様化を語られた。

ここで強く思ったのが、これまでの労働相談で、労働契約（雇用契約）の不履行に端を発し、後々もめ事に発展しているのを感じた。組合専従としても、民間分会の仲間たちにしても、労働基準法や労働契約法に強くならねばいけないと確信になった。

講義2

「国鉄分割民営化から30年

とこれから」 講師… 相木 伸之 全国鉄道本部委員長

部委員長

国鉄時代、国鉄の分割民営化で、乗客の安全・安心を守る闘いなどを語られた。

全動労（北海道が発足）であるが、1970年くらいに国鉄の大型合理化（大規模人員削減）の反対運動に三池労組から参加した父を思い出した。

ちよつとした手違いで、警察に「威力業務妨害」で逮捕され、勾留中の「完全黙秘」。

母（当時交際中）との関係、福岡第一法律事務所の（故）諫山博弁護士、国民救援会からの救済の記録（父の手記）を思い出す。各地のJR・私鉄の駅無人化問題とホームド



ア設置要請運動が頭をよぎつた。又、JRは地域毎で運賃に差が出ていることも今回知る事になった。

1日目の講義が終わり、分散会が行われ、当然ですが初めて拝見する顔ぶれ。

第一分科会のリーダーを勤めて頂いた関西支部の森本さん。リーダーを勤めるだけあって、親分肌の気質を持った方でした。

ここでの議論は、①講義1～2までを聞いてどうだったか。

講義1について、「帝京大 学雇止め事件」の事例を紹介（雇用契約不履行から始まる）。

夕食交流会では、分科会毎に自己紹介を行い、この日、「海人（うみんちゅ）」Tシャツを着ていた私は、「ウチナーと糸島の間の子（愛の子）」。

この前日に亡くなられた太田元沖縄県知事（摩文仁の丘 平和の礎を建設された）と礎に刻まれた戦争犠牲者の我が一族」についてほんの少しだ

け語らせて頂きました。

【2日目】

講義3

「建交労が受け継いだもの」といまとこれから」

講師・角田季代子中央執行委員長



建交労の成り立ちと前身からそのまま引き継いだもの、スローガンも同様「失業と貧乏と戦争に反対!」。また、各支部の闘いを紹介された。福岡県本部の取り組みも紹介され、福岡の実績を語られた。福岡県本部の紹介で用いられた表題が「ひとりの一歩から100人の一歩へ、縦糸と横糸を織りなして強い組織へ」が、中島みゆきの「糸」という曲を用いられたのだと勝手に解釈した。

2日目の午後は、分科会単

位での「札幌市内など班別行動」で、メンバーらと共に札幌に出向いた。しかし、メンバーの中で唯一北海道の方が、地区労連の会議との事で不在。ここで力を発揮したのが、リーダーの森本さん(関西支部)



地元民がいないながらもメンバーを引っ張ってくれた。元々、クラーク博士を拝みたかったのですが、地理がちんぷんかんぷんで、結局会わず仕舞い。大牟田を出発する前に、平川執行委員長に冗談で言ったのが「クラーク博士に弟子入りしてきます、私は「大志を抱くのです」と

豪語していただけにここは残念。

夕方、キリンビール園へ向かい、建交労学校全体で、ジンギスカンを嫌になる程堪能した。

【3日目】 「分散会まとめ」 この3日間の建交労学校を受けて、各



ホテルに帰るなり、2次会(カラオケ交流)が行われ、角田委員長から「大牟田だから炭坑節ね」とリクエストされるが、「炭坑節は、本当は三池じゃないんだけどな」と思いつつ、せつかく北海道にきたのなら、という事で「襟裳岬」を歌う事にした。「襟裳の春はあ、何もおない春ですう♪」それにしても、所属した第一分科会のメンバーは、元氣よく歌っていた。

自のブラカード(意気込み・メッセージ)を作成。閉講式と合わせて、各人の1分間決意表明。私は、組合(労職)



専従となつて、労働者階級の「使われ方」の酷さを、労働相談等を通じてピンピン感じるようになった。様々な職種の間で働く仲間が個人加盟できる建交労を強みにして

「働く者の駆け込み寺目指して!」。多種多様な労働者の結集で、仲間たちと「人間らしさ」の追求をしていきたいと決意した。閉講式では、角田

委員長から一人ひとりに終了証が手渡され、ガッチリ握手を交わした。

閉会后、参加者全員で記念撮影。パシッ!
「第12回建交労学校 in 北海道」が終了した。

各地各分野、第一線で活躍する仲間たちに出会えた事に感謝です。

(津波古)

